

4段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営 ビジョン	笑顔と思いやり、意欲あふれる永久津っ子の育成 ～ 学校・家庭・地域が一体となって148年の絆をつなぐ ～
--------------	---

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知 育	<p>重点目標：学力向上 (子どもの将来を見据えて今の学 びを考える)</p> <p>◎ 児童主体の「楽しく」「分かる」 「できる」授業をめざし、これか らの社会の変容を意識し、児童の 将来を見据え責任をもった学習指 導を展開することによって、学力 のさらなる向上を図る。</p> <p>手段：</p> <p>1 主体的・対話的で深い学びの 創造と確実な振り返り</p> <p>2 職員相互の認め合いと学び合 い</p> <p>3 立腰指導の徹底と基本的学習 習慣の定着</p> <p>4 家庭学習習慣の定着と放課後 子ども教室との連携強化</p> <p>5 タブレットPCの効果的な活 用による学力の向上</p>	<p>1について</p> <p>○ アンケート項目「2」「3」から学習への参加度・理解度に対して肯定的な児童が多いことが分かる。「あてはまらない」と回答している児童もいることから、今後も更に実態把握に努め、授業中に全員が楽しく学習に取り組めるように授業を工夫改善していくとともに「個別の配慮」を行っていく必要がある。</p> <p>2について</p> <p>○ アンケート項目「2」「3」から学習への参加度・理解度に対して肯定的な児童が多いことが分かる。「あてはまらない」と回答している児童もいることから、今後も更に実態把握に努め、授業中に全員が楽しく学習に取り組めるように授業を工夫改善していくとともに「個別の配慮」を行っていく必要がある。</p> <p>3について</p> <p>○ 児童の回答・教職員の回答から、改善すべきポイントがあると感じた。教職員は日々の授業の中で声かけを忘れずに行っていくとともに、正しくできている児童を賞賛し、習慣づけていく必要がある。</p> <p>4について</p> <p>○ アンケートの回答結果から、全体的によく取り組むことができている。</p> <p>5について</p> <p>○ 教職員の回答から、高い頻度で授業中に活用できているといえる。普段の授業に活用しやすい環境作りができています。今後はより効果的な活用について研修を深め、実践の蓄積・整理を進めることで、本校児童の学力の向上につなげていきたい。</p>	3	3	<p>○ 「個別の配慮」「声かけ」は必要だと考えます</p> <p>○ 様々な場面で「個別の配慮」がなされており、児童全員が楽しく学習に取り組んでいる。</p> <p>○ 基本的習慣の定着（鉛筆の正しい持ち方を重視する）</p> <p>○ 立腰について（放課後子ども教室での座卓の使用は考えてみたい）</p>
徳 育	<p>重点目標：豊かな心の教育推進 (生徒指導3機能生かした認める 指導と体験活動の充実)</p> <p>◎ 道徳や特別活動、こすもす科</p>	<p>1について</p> <p>○ 外部講師や地域の方々を積極的に本校へ招き、児童の心の成長につながるより豊かな体験活動を行うことができた。(米作り、昔の遊び、かくれ念仏洞の話、新聞づくり、ワクチン接種について、食育ここやっと小林のシェフ等)</p> <p>○ 学校支援ボランティア 458名(3月末)</p>			<p>○ 「地域との関わり」「故郷」を大事にしてほしいです。</p> <p>○ 地域との連携はよくできていると思います。</p> <p>○ 外部講師や地域の人の協力を得て、様々な活動に取り組めた。</p> <p>○ シトラスリボン運動は学校のみならず、多くの人々に感銘を与えた。</p> <p>○ 今後もボランティアなど積極的に取り組んでほしい。</p>

	<p>との関連を踏まえた体験活動の推進による、豊かな感性と思いやりの心の醸成</p> <p>手段：</p> <p>1 自己を見つめ、多面的・多角的な見方を育む道徳科の推進</p> <p>2 基本的な生活習慣の意義を考えさせる指導と定着の推進</p> <p>3 日本一の読書県宮崎の推進</p> <p>4 社会に関心を持たせる新聞活用の充実</p> <p>5 集会等による命の教育と心のふれあい推進</p>	<p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活に関する指導（さわやかなあいさつ、廊下歩行、清掃、ボランティア活動等）について、重点的に指導を行ってきた。あいさつについては、児童の意識も高まりつつあるが、個人差があるので個に応じた指導(名前を付けてのあいさつ)を継続していきたい。廊下歩行についてや清掃への取り組みへの指導は今後も継続して指導していく必要があると感じている。 ○ 毎週月曜日の業前の時間に、地域ボランティア（永久津お話の会）の方々による読み聞かせを実施している。児童も大変楽しみにしており、今後も継続して取り組んでいきたい。 <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館協力が、児童の図書貸出や図書館設営等を行っている。新刊図書を工夫して紹介するなど、児童の読書意欲を高める工夫を行ってきた。年間貸出冊数 一人 147冊（2月末） <p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通じて、各学年で学校行事や各教科で取り組んだ作品を投稿できた。 <p>5について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 命の大切さについて考える集会や人権や思いやりについての話を放送や各学級の学級指導の中で実施した。どれも児童だけでなく、保護者へも発信していく取り組みとなり意義あるものとなった。児童会と6年生のシトラスリボンへの取り組みは人権意識の高まりにとどまらず児童の今後の自信にもつながった。 	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員玄関ホール左側壁に、宮日新聞に掲載された永久津小学校児童の記事が掲示してありますが、その数の多さと掲載された内容に感心します。保護者の皆様も同様ではないかと思います。投稿は学校をアピールする絶好のツールです。今後とも積極的に挑戦されることを希望します。
<p>体育</p>	<p>重点目標：健やかな心体の育成（生きる力の元となる健康・体力を意識して）</p> <p>◎ 体力向上プランを意識した授業・体育的行事・日常の体育的活動を通して、基礎体力の向上と健康的な生活習慣の定着を図る。</p> <p>手段</p> <p>1 新しい生活様式の徹底</p> <p>2 体力・運動能力の向上</p> <p>3 危険予知・回避能力の育成と地域・保護者との連携</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マスク忘れは、同じ児童が何度ももらいに来ていた。その都度、家庭から持参するように指導した。 ○ 感染拡大時には、保健便りで啓発を行った。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストで落ち込みがみられた2種目（長座体前屈、反復横跳び）については、体育の授業等を活用して体力向上につなげる。 ○ 昼休みには児童が外で元気よく遊ぶ姿が見られた。遊具や道具をさらに活用させて運動に親しませていきたい。 ○ 授業力向上については、学年部で学習を進めたり、他の学年の授業を見る機会があったりと指導法を学ぶ場が多くあった。また、今年度は体育専科派遣事業の一環として体育専科教員が本校に派遣され、5学年の児童と学習を行った。 <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 想定外をいろいろな場合で予想し、反省点が多く出る避難訓練を行ったことは大変意義あるものとなった。常日頃から児童に危険予知の考え方ができるようにそれぞれの学年の発達段階に応じて指導できたことも効果的であった。 ○ 安全点検ではタブレットを活用し、作業の効率化が図られた。 ○ 児童の目線からも、危険箇所を把握する必要がある。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ フツ化物洗口が順調に行われており、安心である。 ○ マスク、歯磨き、むし歯治療など家庭との連携がだいじであるため、メール（スマホ）を活用するなど（お便りだけではなく）、連携を図る取組が必要である。 ○ 外で遊ぶ機会が減って、体力が落ちているのも一因と思います。環境はよいと思うので、体力の向上を期待します。

	<p>4 保健指導の充実</p> <p>5 家庭・地域との連携</p>	<p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1、2、5年生へ歯みがき指導を行った。未治療者へは夏休み前と冬休み前に個別指導を実施した。保健便りでは、6月4日の「むし歯予防デー」と11月8日の「良い歯の日」に合わせて啓発を行った。 ○ 児童の自己評価では、8～9割が食後の歯みがきを行っているが、4名が、あてはまらないと回答しているので、今後も、継続して指導していきたい。 ○ 学校保健委員会で、保健センターの保健師さんに講演をお願いしたことで、保護者への意識付けになったと感じる。 ○ フッ化物洗口は、先生方の御協力により、順調に実施できている。 ○ 現在の治療率は80.6%である。引き続き、未治療者への指導を行う。 <p>5について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の協働体主催の行事等への参加をPTAと協力して呼びかけ、6割以上の参加者があった。 ○ 保健便りや、掲示物等で啓発した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 担任の先生方が、欠席者へ丁寧に対応していたので、長期欠席はいなかった。 ○ 2/28現在 欠席0の日は115日 (出席停止、忌引き除く) 			
<p style="text-align: center;">食育</p>	<p>目標：望ましい食習慣の育成 (食は生きる源)</p> <p>◎ 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる基礎を育てる。</p> <p>手段：</p> <p>1 伝統的な食文化や食習慣を振り返る授業の展開</p> <p>2 食育指導の充実</p> <p>3 HPによる情報提供（今日の給食コーナ</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の方々の協力を得ることで、児童にとって豊かな心を育成する体験活動を行うことができた。(米作り、蕎麦プロジェクト) 今後も計画的に進めていきたい。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭を招いて、食育授業を行ったり、保健、家庭科の食事に関わる部分の授業に入らせて頂いた。家庭科は1月に実施した。 ○ 給食時間のクイズを、委員会の児童に作ってもらうことで、委員会の児童の意識付けにもなった。 ○ 児童の自己評価では、8～9割が好き嫌いせずに給食を食べている。 ○ ホームページは活用できなかつた。3月の食育の日には活用したい。 ○ チャレンジクッキングは、楽しんで取り組んだ様子が見られた。他の児童のものも、よく見ており、「すごい」などと話していた。 <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日の給食をHPに掲載した。 ○ 食育に関する学習や取組をHPに掲載し発信できた。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 我々もあらゆる機会で食育に関心をもって取り組みたいです。 ○ 食育に関する体験活動や授業は充分に行われている。 ○ 給食の時間は短いながら、充分味わい、よく噛んで、完食を目指してほしいです。 ○ 永久津小らしく地域や保護者と協力してまだまだいろいろなことをしてもらいたい。
<p style="text-align: center;">その他</p>					<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後子ども教室で、宿題をする様子を見ていると、低学年は特に姿勢、鉛筆の持ち方、丁寧な文字の書き方、消しゴムの使い方などさらなる改善の必要性を感じます。 ○ コロナが落ち着いてきたら、保護者や児童と一緒にいろいろやりたいですね。

<p>次年度の方向性についての校長所見</p>	<p>本年度は、with コロナの考えのもと、保護者や地域の協力を得ながら行事や取組を計画したり、ICTを活用した授業改善へも積極的に取り組んだりすることで、教育目標の達成に向け努力した。次年度は、学力向上に向けICTの効果的活用を模索し、危機管理を高めながら、安心・安全な学校づくりに努めたい。</p>
-------------------------	--

